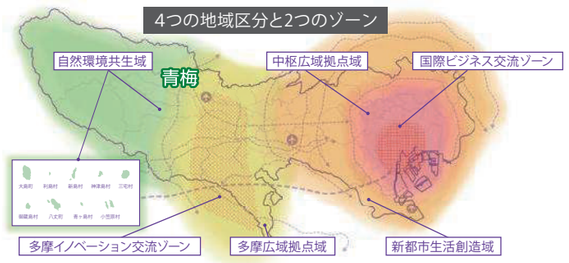
一期目を振り返って…

都議として取り組んできた地域の課題とこれから

青梅が、将来に向けどのような可能性をもっているのかを考えるとき、東京全体の中での役割や位置づけは欠かすことができないものです。

東京都は現在、圏央道から西側を自然環境共生域と名付け、自然とともに生活をしていくサスティナブルな地域として、都市づくりのグランドデザインに位置づけています。豊かな自然を中心に置き、その周りに「都心からの近接性」、「豊かな住環境」、「文化やアート」、「スポーツ振興」という要素を配置して未来像を描くことで、地域の魅力が浮かび上がるのではないでしょうか。



※ 隣り合う地域区分の境界域は、相互の地域特性が緩やかに変化・融合しながら連続性を持っています。

豊かな住環境

東京の中でも住まいにかかる費用が比較的抑えられるため、庭や畑付きの家にも住みやすい青梅。庭先で育った新鮮な野菜が食卓にのる機会は、都心ではめったにないでしょう。

こうした住環境を活かした街は未来の東京で大きな価値を生むと思います。美しい山や川が身近にある青梅は、小さなお子さんを育てる世代にとって魅力的です。

私自身も青梅での育児を楽しんでいます

少し足を伸ばすだけで豊かな自然が広がります。釜の淵にて

青梅の豊かな自然

御岳山は世界でも知名度が高く、高水三山は都内のハイカーで知らない人はいない山域。多様な生物が住む多摩川は勿論、霞川、黒沢川、大荷田川、成木川など、蛍舞う清流は地域の宝物。永山丘陵、霞丘陵などは公共交通機関とのアクセスも充実。

文化やアート

文化芸術活動を支援し、市民参加を進めます。コロナ禍で芸術家を支援する東京都の「アートにエールを!東京プロジェクト」には、青梅在住の芸術家のご意見を反映させました。豊かな青梅の自然と文化芸術活動の相性の良さに着目、国際的な芸術祭の運営を行う専門家を招き、地域の可能性について助言頂いて

東京里山野外アート(大荷田)

玉堂美術館

スポーツ振興

老若男女を問わず、障害のある方も楽しめる環境を整備します。豊かな青梅の自然をフィールドにしたスポーツや自転車などに大きな可能性を感じており、小池知事に都心から青梅・奥多摩を結ぶ大規模自転車レースの開催を提案中で

総合体育館の空調はオリパラに向けた都の制度で整備されました

自転車レース開催を提案中

都心からの近接性

青梅⇔新宿は約1時間程度と好アクセス

塩船観音寺など魅力ある観光資源も充実

他県にも自然豊かな地域が数多くありますが、都心まですぐにアクセスできるといった立地はあまり有りません。この都心からの近接性は間違いなく街としての武器。JR青梅線や圏央道など、都心へのアクセスを活かした地域戦略を描いていきます。

東京アドベンチャーライン OME OKUTAMA

report 01 多摩格差是正を進め、多摩の核を結びます~立川との連携

23区と多摩の格差解消には特に力をいれてきました。
会派の多摩選出議員からなる「多摩部会」で事務局を務め、立川に都の施設を集約し、多摩の核を形成すべきと提案。
この四年間で、Tokyo創業ステーションTAMAの設置、立川広域防災拠点の改修、多摩都市モノレールの延伸、英語教育の体験施設の新設、女性しごと応援テラスの設置など、小池知事との連携で様々な事業を進めています。

都から青梅市に交付される「市町村総合交付金」を着実に増やし、厳しい市の財政を支えていきます。
一昨年の台風19号の被害にあたっては8800万円の「災害復旧・復興特別交付金」が、昨年は4億3895万円の「新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金」が都から青梅市に交付されました。
特に台風被害からの復旧を見据え、発災直後に市内全域を視察し知事にレポートを提出、迅速な支援へと繋げました。

青梅市 市町村総合交付金

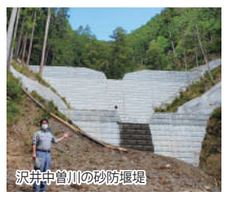
H28年度(就任前) 13.8億円		
	H29年度 14.1億円	UP!
	H30年度 18.4億円	UP! ※
	R1年度 15.6億円	UP!
	R2年度 15.4億円	UP!

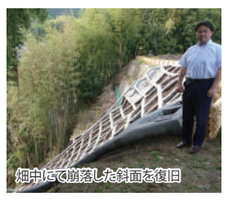
体験型英語学習施設(TGG)を立川に

ネッツたまぐーセンター(青梅市文化交流センター)
※H30年度の交付金UPは建替え費用のため

report 02 災害に強い街づくりを進めます

山に囲まれた青梅には、都指定の土砂災害警戒区域が多数あります。土砂災害や地滑りなどから地域を守るための砂防堰堤を整備。台風などの被害の際には現地を視察し、早期復旧工事へと繋げます。
霞川では東京都による河道の拡幅工事が行われていますが、夏場の出水期には草刈りなど定期的な管理をしてもらっています。


沢井中曽川の砂防堰堤


畑中にて崩落した斜面を復旧

report 03 河川の安全性を高めます

多摩川ではダムからの放流情報を下流の自治体に届ける方法を提案し実現しました。
成木川では堆積した土砂の撤去や河川カメラの設置、霞川では拡幅による治水能力の向上や、河川カメラの設置などを進めています。
黒沢川では、沢から流れ込む雨水の合流点の流れを円滑化する保守工事を求めるなど、水害対策を進めています。

地域の自治会の要望で定期的な霞川の草刈りを都に提案し実現

富岡にて成木川の浚渫(しゅんせつ)を行いました

report 04 青梅駅前の再開発を進めます

東京都から「青梅駅前地区市街地再開発組合」の設立許可が下りた、駅前西側エリア。今後ステップを踏んで新しい建物に生まれ変わります。
高層階を住宅、低層階を店舗や公共施設が入る建物になる予定ですが、青梅を代表する良い建物になるよう最大限応援します。都の制度として外壁などに多摩産材を活用できる制度もあります。

青梅駅前

再開発予定地

report 05 地域の伝統と文化を応援します!

各地で行われるお祭は地域の伝統や文化を象徴する魅力の一つ。コロナ禍で二年連続中止になったお祭も多く、収束後に向けた各地の取り組みを心から応援したいと思います。小池知事も昨年、青梅の伝統や文化に触れるべく青梅大祭に足を運ぶ予定でしたが、感染の拡大でかなわず。いつかまたお声がけしたいと思い

青梅大祭 駅前のロータリーに山車が集結

調布大祭のクライマックス 山車や神輿が集結

※2021年4月発行の都政レポートにおきまして「調布大祭」と記載すべきところを誤って「千ヶ瀬大祭」の記載が ありました。関係各位に深くお詫び申し上げ、ここに訂正させていただきます。

report 06 貴重な建築を守ります

野上の春日神社本殿の改修が昨年行われました。多摩地域では数少ない江戸初期に建立された建築のひとつで、農村地帯での中世からの歴史的な技術や美意識を伝える貴重な本殿の改修は、なんと212年ぶりのものでした。
3年の働きかけの結果、改修が実現しました。今後も地域の大切な建物を守っていきます。都指定有形文化財。

春日神社

report 07 地域の魅力創出を応援します

地域の団体や自治会などが主催する自然や農地を活用したイベント。小さなお子さんのいるご家庭にとっては、参加してみたい取り組みがあるのではないでしょうか。
都の、地域の底力発展事業や、地域環境力活性化事業、新たなツーリズム開発支援事業などの活用を進め、地域の魅力創出やコミュニティー活動の活性化に繋げます。

木野下の泥んこ運動会

河辺川原での活動

report 12 農業をより身近に

青梅での生活の豊かさは、身近に自然や農地があることだと思います。朝市や直売所で採れたての野菜を手に入れられ、家庭菜園にも取り組みやすいことは地域の魅力のひとつ。「農」のある暮らしを応援します。
農家を支援する制度の提案、生産性向上や六次化の推進、生産者と消費者をつなぐ取組

木野下田んぼの稲刈りの様子

苗を見ながら農家の方のお話をきく

report 13 林業振興と森の多面的な活用を進めます

青梅市の面積の3分の2を占める森林の、多面的な活用を図るべく、林業に取組む方々と連携します。都に提案して実現した「自然を活用した保育・幼児教育の推進事業」や、拡充を要望して今年度予算に反映された「木育推進事業」などを活用。さらに都を通じて23区に対しても、森林環境譲与税の活用法を提案していきま

森林を活用した保育・幼児教育

きれいに手入れされた林

report 08 歩道の安全性を高め高齢者や子どもたちを守ります

歩行者、特に高齢者や子どもの安全性を高めるため、吉野街道の歩道を、友田・長淵・駒木野地区の三か所で仮設整備してもらいました。
建設委員会にて、学校付近で危険な箇所を早急に解消するよう要望してきましたが、今年度中に、成木街道の根ヶ布川沿い歩道(四小付近)の安全性を高めるため、歩道に横断防止柵を設置する工事を進めます。

二小付近の歩道を仮設整備しました

report 09 岩蔵温泉エリアの道路の安全性を高めます

岩蔵温泉周辺の道路は交通量の多さに比べて車道が狭く、スピードを出す車が多いため危険、という地元の方々の声に応え、現在歩道に色を塗布し、ソフトコーンを配置するなど走行車両のスピードを抑えるための措置を予定しています。車両と歩行者の安全性確保のため、地域の声を聴きながら取り組みます。

施工後イメージ

施工後イメージ

report 14 観光の振興を進めます

成長産業の一つとして受け入れ環境の整備や地域の魅力の磨き上げを支援する政策に取り組んできましたが、コロナ収束後に改めて期待。
都民が都内で楽しむ旅行需要に注目し、ワーケーションや二ヶ所居住を進める取組も進めます。御岳山、御岳渓谷、吉野梅郷、塩船観音寺、岩蔵温泉など地域の魅力に光を当てたいと思います。東京都観光事業審議会の委員を務めています。

御岳渓谷のライトアップに都の支援を導入しました

御岳山の天空もみじまつり

report 15 梅の再生を進めます

梅輪紋ウイルスの被害で大きな打撃を受けた梅の再生に取り組んでいます。
2018年5月に小池知事に梅郷の「梅の公園」を視察いただいて以来、継続的な支援を求める要望を、毎年行ってきました。
このたび国の防除に関する方針が変更になりましたが、都には引き続き支援を約束してもらっています。一日も早い再生を!

梅の公園にて、小池知事、浜中市長と

観梅市民祭り

report 10 新青梅街道千ヶ瀬バイパスの延伸を促進します

千ヶ瀬バイパスの延伸は長い間進められてきた事業ですが、1期目の任期中に大きな進展がありました。2期目の中で、延伸箇所の開通に目途をつけられるよう引き続き取り組みを進めます。
バイパスの延伸により天ヶ瀬地区の街作りが進み、青梅街道の混雑解消や、青梅駅前商店街の無電柱化などを進めるきっかけにもなります。

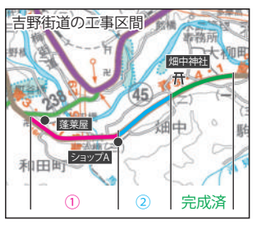
延伸予定地

日常的に渋滞が発生しています

report 11 吉野街道の歩道の拡幅と梅ヶ谷トンネルの開通に向けて

いよいよ昨年末より動き出した吉野街道の畑中三丁目から和田町二丁目にかけて(下図①)の歩道の拡幅事業、早期実現に向けて後押ししていきます。
また、日の出町と青梅市を結ぶ梅ヶ谷トンネルの掘削についても、西多摩の回遊性を高め、災害時の迂回路として機能する新しい道路として、早期完成を促しま

梅ヶ谷トンネルの工事



report 16 青梅の魅力を発信します

高水山の山頂付近にある常福院は、高水三山を歩く多くのハイカーが立ち寄る、青梅を代表する人気のスポットです。
訪れる人たちのために、都の管理するトイレの手洗い場を整備しました。
今後は歴史ある見事な本堂と庫裡の保全や利活用を後押しし、その魅力をアピールしていきたいと思います。

常福院の本堂

トイレの手洗い場を整備

report 17 きれいなトイレの整備を進めます

自然豊かな青梅には多くの観光客が訪れます。おもてなしの第一歩として、トイレはきれいにしておきたい!ということで、御岳山など自然公園内のトイレの改修を進めてきました。
本年4月あらためて小池知事に、「老朽化したトイレの計画的な改修と清掃や管理」を要望。「しっかり状況を把握して進めますね」とお答えをいた

多摩部会として要望書を提出

都が設置した御岳山のトイレ